



発行日
平成27年8月7日 第101号
林野庁 北海道森林管理局
釧路湿原森林ふれあい推進センター

雷別ドングリ倶楽部開催

7月15日(水)、第2回 雷別ドングリ倶楽部を開催しました。今回の活動は、昨年秋と今年の春に広葉樹苗木を植えた箇所での下刈作業。

ところで、「下刈」とは？

畑で作物の生育を妨げる雑草を取り除く除草を行うように、山に植えた苗木のまわりにも、雑草や雑木が茂って、雑草や雑木を刈払機や鎌を使って、刈取る作業を下刈といいます。夏の暑さのなか、日陰のない場所での作業で、雑草が繁茂していること、蜂の巣に近づいてしまったり、蜂に襲われることもあり、大変な作業です。



下刈開始 (笹や雑草がいっぱい)

開さて、全員草刈り鎌を持って、作業開始。小さな苗木と自然に生えてきた雑草が、このように慎重に作業を進めていきます。

。(苗木等に目印はつけてあるので、**緑色(雑草)**の中で**緑色(苗木)**を探すのって大変なんですよ。先週末から、最高気温30度前後の天候の続く標茶町、この日も28度前後の暑くなり、注意しなければいけません。水分を十分に摂り、汗を流して頂き、辛い下刈り作業に十分な汗を流して頂きました。



下刈終了 (すっきり)

午後からは、釧路町の達古武湖畔にある達古武オートキャンプ場へ移動しました。この周辺は、釧路湿原国立公園の特別地域になっており、コンクリート製の電柱も景観に配慮し、茶色に塗装されています。雷別ドングリ倶楽部の活動は釧路湿原自然再生事業の取組の一つですが、環境の再生を目指す「達古武湖自然再



この大きな葉は何でしょうか？

生事業「カマツツ林を達古武地域本来の広葉樹林へ復元する「達古武地域自然再生事業」が環境省釧路自然環境事務所により行われています。夢ヶ丘展望台まで約2.3kmの達古武夢ヶ丘展望台まで、この歩道は、展望台に向かい左は湿地、右は森林から湧水が流れてい側です。森林から湧水が流れていへます。活動している雷別は釧路湿原に位置している。下流域の湿原を見てもいいな。森林再生が、必要を感じてもらうため、この歩道を歩きながら、花植るを観察し、木の種類を確認。ツケ開花するのを数種類の水のまわりで湧き出る澄んだ水、その前の見たり、雷別湿地の自然再生(森林再生)の大切さを実感してもらいました。

木材利用

昨年8月の林野庁情報誌「林野」R
「NYA」に、しなの鉄道の観光列
車「ろくもん」が紹介されていました。
列車の内装に、地元長野県産のカラ
マツ、スギ、ヒノキが使われていると
いう内容。最近テレビで「ろくもん」
を見ましたが、新車ではなく既存の車
両を改造したもので、落ち着いた雰囲
気、明るい感じ、ぬくもりが感じられ
木材を使うだけで、3つ扉の電車がこ
こまで変身するのですから、びっくり
ですね。



内装に国産材を使用した観光列車「ろくもん」運行開始



林野 2014.8 No.05

鉄道車両に木材を使うのがとても斬
新に感じますが、昔は、内装どころか
車体の脆弱性、安全対策等から、鋼製車
両の新製（昭和2年から）、木造車の
両の鋼製（昭和24年から）によって、国
鋼体化（昭和30年頃）に木造車は営業車
鉄では昭和30年頃には木造車は営業車
姿を消したよつです。
ら姿を消したよつです。
ゼル車の普及で、客車の列車は少なく
なりまして、茶色（ミルクチョコレート）の

ような色）の渋い、古めかしい客車が
いまませんか。走っていたのを覚えて
席の背もたれ、肘掛、窓枠が木製で、
二又塗りされていて、重厚感がありま
した。
照明は白熱灯、網で作られた網棚（網
棚には棒も木製の額があり、車内の
壁は白く塗られていました。記憶が
貼られていた。驚くほど、内装に木
を多く使用して、臭いが残念に木
塗られた油の臭いが記憶が床板に
す。また、最近では、反対側の走
た等と、最近では、反対側の走
時中客車片側は、開閉式の
行中客車片側は、開閉式の
り、先頭車、側面から解き、
丸見え、最後尾から解き、
楽しめる展望台になつてい
は雪が吹き込んでいた。
この客車に、非電化路線の
北の鉄路に、非電化路線の
躍中車。現在の車内は、
が開発される。新型車両は、
や豪華列車では、新型車両は、
利用する。一番身近で、道民の足
もの。北海道の車なので、雪や寒
いものを作るので、雪や寒
すみに北海道産の木材を使うこと
きまない。木のぬくもりが伝わり
みちが、木のぬくもりが伝わり

信州にカラマツ、スギ、ヒノキがあ
るように、北海道にもカラマツ、トド
マツ、アカエゾマツがあるのですが、



当時販売していた記念切符、茶色の客車が連結されています。



キハ〇〇といわれてもピンときませんが、こちらがキハ40

今後の予定

*カラマツ球果の成熟度調査

*8月26日（水）
中茶安別小中学校
夏の学校林活動

*8月30日（日）
京都大学学生実習
（パイロットフォレスト）

*管内の自然情報の収集や情報提供を
行っています。下記ホームページを
随時更新しておりますので是非ご覧下
さい。

管内の自然情報の収集や情報提供を
行っています。下記ホームページを
随時更新しておりますので是非ご覧下
さい。

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305

【E-mail】h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp

【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



国民の森林・国有林

当センターは、国有林をフィールドとして、北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取組むNPO等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。